

# 大阪大学医学部附属病院にて発生した論文不正と臨床研究についてのご報告

大阪大学医学部附属病院元医員が発表した学術論文において研究活動上の特定不正行為が疑われるとする告発があり、論文執筆時に所属していた大阪大学および国立循環器病研究センターで調査を行った結果、5編の論文に不正（データのねつ造、改ざん）が見つかりました。5編の不正論文のうちの1編が大阪大学医学部附属病院を研究代表施設とする臨床研究「非小細胞肺癌手術適応症例に対する周術期 hANP（ハンプ）投与の多施設共同ランダム化第II相比較試験（JANP study）」の計画書に参考論文として用いられており、この不正により、肺癌手術の際に試験薬を投与する上での安全性判断の基礎となるデータに疑問が生じることになりました。

この臨床研究は当院を含め、全国から10施設が参加しています。研究全体では335人の患者さんに参加して頂き、当院では14人の患者さんに参加して頂きました。現在のところ、臨床研究に参加していただいた患者さんの健康に重大な影響はないと考えておりますが、今後も慎重に患者さんの健康状態を観察し、本臨床研究に参加していただいた患者さんに不利益が生じないよう、最大限の努力をすべきと考えており、責任をもって対応してまいります。

患者さん、ご家族の方には多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

ご不明な点、お問い合わせは下記までお願いします。

令和2年8月18日  
神戸大学医学部附属病院  
病院長  
平田 健一

○本件問い合わせ先  
医学部総務課 課長補佐 078-382-5011